

RyuMIC

RyuMIC研修医の声

プログラム「ていだ」

PROGRAM

2017

しもじ しづき
2年目 下地 志月
No.4



私がプログラム「ていだ」を選んだ理由は主に2つあります。一点目は、ローテーションの組み方の自由度が高いことです。私は学生の時から皮膚科に進みたいと考えており、スムーズに入局しやすいと思い、大学病院での研修を選びました。実際に2年目の4月に皮膚科を回ったのですが、進路を決定する前に研修することができたので良かったと思います。なぜなら、将来像をイメージしやすく、研修期間中も先輩医師に相談することができたからです。また、将来役立つと考え選択した内科や形成外科、病理科も希望する時期と期間を選ぶことができました。

将来進みたい科が決まっている場合、その診療科をどれくらい研修するのか、またその診療科に必要な研修先を選択できるため、とても魅力的だと思います。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	第三内科		麻酔科	救急科 沖赤			外科 那市	GIM 那市	内科 那市			
2年目	皮膚科	外科	地域医療 宮古	内科 沖赤	精神科	産婦人科	内科		放射線科	病理科		

もう一点に関しては、学生結婚した私は研修医中に一人目を出産したかったため、妊娠・出産・育児に寛容な大学病院を選びました。大学病院では市中病院と異なり当直制度がないため、研修医でも長期間休みを頂きやすい環境にあります。育休にも取得できるため、先輩や同僚の中には1年間育休をした後に職場復帰し、3年かけて研修を修了した方もいらっしゃいます。女性医師にとって育児と仕事の両立は大きなテーマだと思いますが、RyuMICプログラムならそれを叶えていただけたと思います。

大学病院ではcommon diseaseが見れなかったり、当直がないため経験を積むことができないと考えている方もいらっしゃると思いますが、RyuMICプログラムでは外病院での研修も自由に選択できるため、そのような心配をする必要はないと思います。市中病院でしかみれない症例も経験しつつ、また一方で大学病院でしかみれない症例も経験できるため自分次第でとてもバランスの良い研修内容にすることができると思います。

どのような研修内容にするかは自分自身にかかっていますが、先輩や同僚と相談しながら研修プログラムを組み立てていくと、有意義な研修内容にできると思うので、ぜひRyuMICプログラムをお勧めしたいと思います。